

使用説明書 〈管理者ガイド〉

目次

この本の読みかた.....	2
マークについて.....	2
用語について.....	2
おことわり.....	4
1. 本製品の概要	
本製品でできること.....	5
動作環境を確認する.....	7
管理ツールの動作環境.....	7
検索ツールの動作環境.....	8
対応言語.....	8
インストールの流れ.....	9
管理ツールをインストールする.....	9
検索ツールをインストールする.....	9
2. セキュリティー運用ガイド	
セキュリティーの考えかた.....	11
紙媒体からの情報漏えい.....	11
機器使用時の情報漏えいへの対策.....	12
本製品を利用するための環境設定.....	13
アカウントの設定.....	13
ログ保管先とアクセス権.....	14
セキュリティーを向上するための設定と運用.....	14
その他の注意事項.....	16
3. 付録	
注意事項・制限事項.....	17
Embedded アプリケーションのエラーコード.....	17
その他の注意事項・制限事項.....	19
商標.....	20

この本の読みかた

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

★ 重要

誤って操作をすると、OS やプログラムの停止、データ消失などの原因になることがあります。必ずお読みください。

↓ 補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

[]

画面のメニューやボタンおよびタブの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

用語について

本書で使用している用語について解説します。

アクセスアカウント

機器へのアクセスを許可または制限するための情報です。アカウントの種類によっては、ユーザー ID やパスワードが必要です。本製品では、以下のアクセスアカウントを使用して機器を管理します。

- SNMP アカウント：機器の検索や機器から情報を取得するときに使用します。
- Web サービスアカウント：機器の設定を変更するときに使用します。

機器

ネットワーク上のプリンターおよび複合機のことです。本書ではプリンターと複合機に限定して「機器」と表現しています。

機器の検索

指定した条件に応じてネットワーク上の機器を検索し、RICOH 画像ログ送信オプション 管理ツール（以降、「管理ツール」）に機器情報を登録する機能です。

機器情報の取得

機器の検索で発見したネットワーク上の機器から、ステータスの状況などを取得する機能です。

システム管理者

RICOH 画像ログ送信オプションや管理ツールの設定、ジョブログや画像ログの運用を行う管理者です。

閲覧者

RICOH 画像ログ送信オプション 検索ツール（以降、「検索ツール」）を使用してジョブログや画像ログを閲覧するユーザーです。

ユーザー

機器を使用して印刷、スキャンなどを実行するユーザーです。

ジョブログ

機器でコピーや印刷などのジョブを実行したときに、操作日時や操作結果などが記録される XML ファイルです。1 つのジョブログに 1 ジョブの情報が記録されます。

画像ログ

機器でコピーや印刷などのジョブを実行したときに、機器で扱った文書を画像に変換したマルチページ PDF ファイルです。ログとして参照し、文書の内容を確認できます。

コピー、印刷、スキャン、ファクス送信のジョブを実行したときに、画像ログが作成されます。PDF ファイルへの変換に失敗したときは、TIFF ファイルまたは JPEG ファイルが作成されます。

おことわり

- 本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 大切な文書やデータは、コピー（複製）をとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本製品に異常が生じた場合、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウェア等に対する予防措置は、お客様の責任で講じてください。
- お客様が本製品を使用して作成した文書やデータを運用した結果について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の製品とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部、または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

1. 本製品の概要

RICOH 画像ログ送信オプションは、ネットワーク上の機器のジョブログや画像ログを一元管理するオプションです。機器のジョブログと画像ログをログ保管先に蓄積したり、RICOH 画像ログ送信オプション Embedded（以降、「Embedded アプリケーション」）の設定や機器の監視などをコンピューターから実施したり、蓄積したジョブログと画像ログをコンピューターから閲覧できます。

1

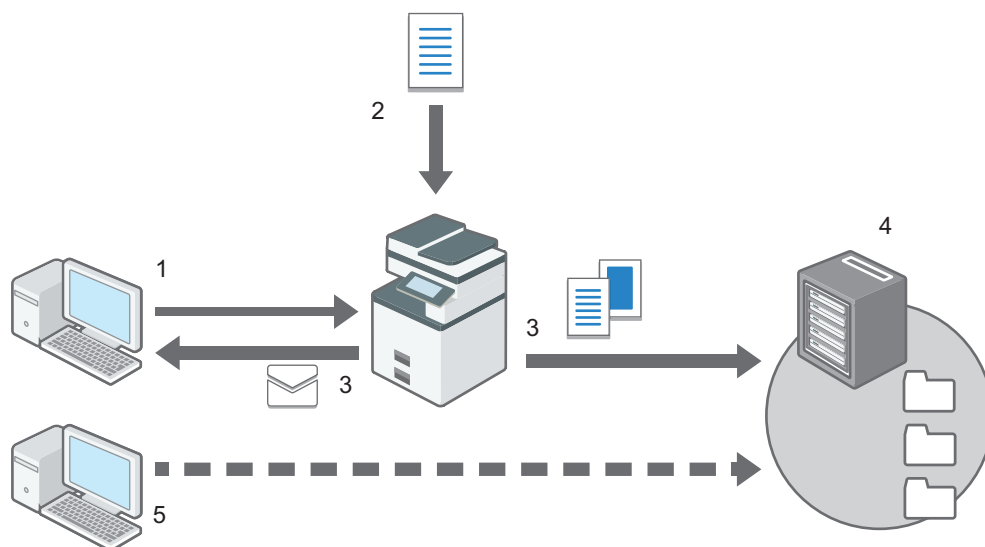
本製品でできること

RICOH 画像ログ送信オプションは、機器にインストールした Embedded アプリケーションを使用し、機器で使用された原稿を画像ログとしてジョブログとともに収集、管理します。

収集されたジョブログと画像ログは、サーバーなどのログ保管先に送信され、保管されます。

システム管理者は管理ツールを使用して、ジョブログと画像ログのログ保管先の指定など、Embedded アプリケーションの設定をネットワーク上の複数の機器に実施できます。

また、閲覧者は検索ツールを使用してログ保管先に接続し、ジョブログと画像ログを閲覧できます。



EAY001

1. 管理ツール（システム管理者）

システム管理者は管理ツールを使用して、ネットワーク上の機器の Embedded アプリケーションのパラメーターを設定したり、機器の状態を監視したりします。

2. 機器の操作（ユーザー）

ユーザーが機器を使用してコピーや印刷、スキャン、ファクス送信などのジョブを実行します。

3. Embedded アプリケーション

機器で操作が実行されたとき、Embedded アプリケーションがジョブログと画像ログを取得し、機器のハードディスクに蓄積します。その後、指定されたログ保管先にジョブログと画像ログを送信します。ジョブログと画像ログの送信に失敗したときは、管理ツールで設定した通知先にメールを送信してエラーを通知します。

4. ログ保管先

サーバーなどのローカルストレージにジョブログと画像ログを保管します。

5. 検索ツール（閲覧者）

閲覧者は検索ツールを使用して、保管されているジョブログと画像ログを閲覧します。

↓ 補足

- ログ保管先に保管したジョブログと画像ログは、お客様のシステムと連携して使用できます。お客様のシステムとの連携については、リコーにお問い合わせください。
- 検索ツールの代わりに、Windows の機能を使用してログ保管先に接続し、ジョブログと画像ログを閲覧できます。

動作環境を確認する

管理ツール、検索ツールの動作環境は以下のとおりです。

1

管理ツールの動作環境

管理ツールを使用するために以下の環境が必要です。

項目	詳細
コンピューター	<ul style="list-style-type: none"> • CPU：Core i5 2.5 GHz 以上 • メモリー：2 GB 以上（推奨 4 GB 以上） • ハードディスク空き容量：2 GB 以上
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 8.1/Pro/Enterprise（32bit/64bit）（RT 版は除く） • Windows 10 Home/Pro/Pro for Workstations/Education/Enterprise（32bit/64bit） • Windows 10 Enterprise LTSC 2019（32bit/64bit） • Windows 10 Enterprise 2016 LTSC（32bit/64bit） • Windows Server 2012 Essentials/Standard（64bit） • Windows Server 2012 R2 Essentials/Standard（64bit） • Windows Server 2016 Essentials/Standard/Datacenter（64bit） • Windows Server 2019 Essentials/Standard/Datacenter（64bit）
ネットワークプロトコル	<ul style="list-style-type: none"> • TCP/IP（IPv4 のみ） <ul style="list-style-type: none"> • HTTP、HTTPS • UDP <ul style="list-style-type: none"> • SNMP v1/v2/v3
ログ保管先ストレージ	ディスク容量：お客様の運用する画像ログの文書量に応じて、適切なディスクの容量を準備してください。

↓ 補足

- 仮想環境での動作は、以下の仮想化システムに対応しています。
 - VMWare ESXi 5.5, 6.0, 6.5
 - Windows Server 2012 Hyper-V
 - Windows Server 2012 R2 Hyper-V
 - Windows Server 2016 Hyper-V
 - Windows Server 2016 Datacenter Hyper-V
 - Windows Server 2019 Hyper-V
- 動作環境は変更されることがあります。最新情報は、リコーホームページを参照してください。

検索ツールの動作環境

検索ツールを使用するために以下の環境が必要です。

項目	詳細
コンピューター	<ul style="list-style-type: none">• CPU : Core i5 2.5 GHz 以上• メモリー : 2 GB 以上 (推奨 4 GB 以上)• ハードディスク空き容量 : 2 GB 以上
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">• Windows 8.1/Pro/Enterprise (32bit/64bit) (RT 版は除く)• Windows 10 Home/Pro/Pro for Workstations SAC Version 1903, 1909, 2004 (32bit/64bit) Education/Enterprise SACT/SAC (1903 以降は SAC のみ) Version 1809, 1903, 1909, 2004 (32bit/64bit) Enterprise LTSC/LTSB Version 2016 LTSC, LTSC 2019 (32bit/64bit)• Windows Server 2012 Essentials/Standard (64bit)• Windows Server 2012 R2 Essentials/Standard (64bit)• Windows Server 2016 Essentials/Standard/Datacenter (64bit)• Windows Server 2019 Essentials/Standard/Datacenter (64bit)

↓ 補足

- 管理ツールがインストールされているコンピューターに、検索ツールをインストールできます。
- 仮想環境での動作は、以下の仮想化システムに対応しています。
 - VMWare ESXi 5.5, 6.0, 6.5
 - Windows Server 2012 Hyper-V
 - Windows Server 2012 R2 Hyper-V
 - Windows Server 2016 Hyper-V
 - Windows Server 2016 Datacenter Hyper-V
 - Windows Server 2019 Hyper-V
- 動作環境は変更されることがあります。最新情報は、リコーホームページを参照してください。

対応言語

管理ツール、検索ツールの対応言語は、日本語、英語です。その他の言語で表示される OS にインストールしたとき、管理ツール、検索ツールの画面は英語で表示されます。

インストールの流れ

システム管理者や閲覧者のコンピューターに管理ツールや検索ツールをインストールするときは、以下の流れでインストールして設定してください。

↓ 補足

- 管理ツールと検索ツールを同じコンピューターにインストールすることもできます。

管理ツールをインストールする

1. システム管理者のコンピューターに管理ツールをインストールします。

管理ツールをインストールするとき、新規インストールのほかに、以前アンインストールしたときに残したデータを受け継いでインストールができます。

↓ 補足

- 管理ツールのインストール方法は、『管理ツール操作ガイド』「管理ツールのインストールと初期設定」を参照してください。

2. 管理ツールを使用して、ネットワーク上の機器の情報を設定します。

↓ 補足

- 管理ツールの初期設定は、『管理ツール操作ガイド』「管理ツールの初期設定」を参照してください。

検索ツールをインストールする

1. 閲覧者のコンピューターに検索ツールをインストールします。

↓ 補足

- 検索ツールのインストール方法は、『検索ツール操作ガイド』「検索ツールのインストールと初期設定」を参照してください。

2. 検索ツールにジョブログや画像ログを保存しているログ保管先の情報を設定します。

↓ 補足

- 検索ツールの初期設定は、『検索ツール操作ガイド』「検索ツールの初期設定」を参照してください。

2. セキュリティー運用ガイド

この章では、本製品を使用することでどのようにセキュリティーが向上できるかについて、また本製品を運用するにあたってセキュリティー面で気を付けることについて説明します。

セキュリティーの考えかた

2

個人情報や企業情報の漏えいが大きな問題となっている現在、システムを運用するにあたってセキュリティー対策は重要な課題です。

情報漏えいの原因として、インターネット、電子メール、コンピューター本体やUSBメモリーなどの記録媒体からの情報漏えいがあげられますが、紙媒体からの情報漏えいも大きな課題です。メディアによる報道も多いことから前者の情報流出については対策が浸透していますが、後者については顕在化しないケースもあり、対策も遅れているのが現状です。

ここでは、紙媒体からの情報漏えいを未然に防止するため、また万が一情報が漏えいしたときに適切な処置を取るために、本製品がどのように役に立つかについて説明します。

紙媒体からの情報漏えい

紙媒体からの情報漏えいは大きく2つに分類できます。

機器使用後の情報漏えい

印刷物を第三者が持ち去る、または印刷物を第三者が盗み見るなどが原因で情報が漏えいするケースがあります。また機密情報を掲載した書類を破棄しないで、コピーしたり社外に持ち出したりすることで、情報漏えいにつながる場合があります。

このタイプの情報漏えいについては、印刷物の運用規定を定めることによって防止することを推奨します。

機器使用時の情報漏えい

文書をスキャンやファクスで送信するときに、宛先を間違えて第三者に送信することで情報が漏えいするケースがあります。また機器の使用について適切に権限が設定されていないと、従業員が退職後に機密情報を漏えいすることがあります。

本製品を使用することで、このタイプの情報漏えいに対策を取れます。

機器使用時の情報漏えいへの対策

本製品を導入すれば、機器にアカウントを適切に設定することで、誰がいつどのような操作をしたか、ジョブログや画像ログに残せます。

また RICOH の複合機には、スキャンやファクスの送信時に、宛先を繰り返し入力させる／送信前に宛先を再表示する／同報送信時の誤送信を防止するなどの機能があります。万が一誤送信が発生したときは、RICOH 画像ログ送信オプション 検索ツール（以降、「検索ツール」）でジョブログや画像ログを参照することで、誰がどこにどのような文書を送信したかを特定できます。検索ツールの具体的な使用例については『検索ツール操作ガイド』「ログを参照する」を参照してください。

このようにユーザー認証と組み合わせて本製品を運用することで、情報漏えいが発生したときに原因を追跡できます。

また、機器の操作についてログを記録していることをユーザーが意識することで、情報漏えいを抑止する効果も期待できます。

↓ 補足

- 本製品では以下のログは保存されません。
 - ファクス受信の画像ログ
 - ファクス直接送信のジョブログ・画像ログ

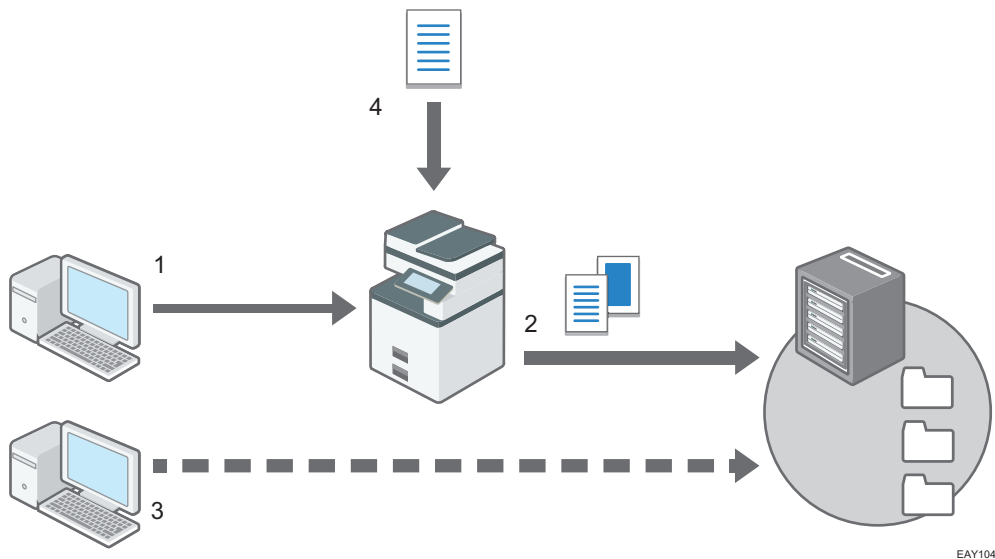
本製品を利用するための環境設定

ここでは、セキュリティを十分に確保した状態で本製品を利用するために必要な環境や設定について記載します。

アカウントの設定

2

本ツールに関するアカウントとそれぞれの権限について説明します。



1. システム管理者

ジョブログや画像ログを管理するユーザーです。ジョブログや画像ログを保存するログ保管先へのアクセス権を持ち、管理ツールを使用して送信設定を変更できる権限を持ちます。

2. ジョブログ送信者

ジョブログや画像ログをログ保管先に送信するために必要な、機器に設定するアカウントです。実際にユーザーがログオンして使用することはありません。通常はシステム管理者がこのアカウントを設定します。

3. 閲覧者

ジョブログや画像ログを閲覧するユーザーです。検索ツールを使用してジョブログの内容を確認したり、画像ログを閲覧したりできます。

4. ユーザー

機器を使用して印刷やコピーを実行する一般のユーザーです。ジョブログや画像ログにはアクセスできないように権限を設定します。

ログ保管先とアクセス権

機器から送信するジョブログや画像ログを保存するには、ログ保管先となるストレージが必要です。ログ保管先にはファイルサーバーを使用することを推奨します。

ログ保管先にログを保存するフォルダーを用意し、共有フォルダーに設定します。さらに、保存されたログへのアクセスを制限するため、共有フォルダーに以下の権限を設定します。

- 書き込み権限：システム管理者、ジョブログ送信者
- 読み取り権限：閲覧者

セキュリティーを向上するための設定と運用

本製品に関するアカウントについて、セキュリティーを向上させる設定と運用を説明します。

管理ツールのパスワード設定

管理ツールにパスワードを設定することで、システム管理者以外のユーザーが管理ツールを使用することを防止します。

1. 管理ツールを起動します。
2. セクションエリアの [システム] をクリックします。
3. セクションツリーの [認証とアカウント] カテゴリーから、[変更パスワード] をクリックします。
4. 「ログインパスワード」にパスワードとして設定するテキストを入力します。
5. 「ログインパスワード（確認）」にパスワードとして設定するテキストを再度入力します。
6. [保存] をクリックします。

↓ 補足

- 管理ツールの操作は、管理ツールのインストールと初期設定をしたあとに実施してください。管理ツールのインストールと初期設定については、『管理ツール操作ガイド』を参照してください。

ジョブログ送信者のパスワード設定

管理しているすべての機器に対し、ジョブログ送信者アカウントを1つ設定します。それぞれのアカウントに、十分に複雑なパスワードを設定してください。機器のアカウントにパスワードを設定する方法は、機器のマニュアルを参照してください。

パスワードの有効期限は無期限に設定するか、管理ツールから定期的に変更するように運用します。

閲覧者のアクセス権限設定

検索ツールは、閲覧者が管理者権限でログオンできるコンピューターにインストールすることを推奨します。コンピューターが自動ログオンする設定になっているときは自動ログオンを解除し、ログオン時にパスワードを入力するように設定してください。

2

エラー通知メールの設定

本製品でエラーが発生したときにエラー通知メールを送信するように設定してください。

エラー通知メールは、トラブル発生時にトラブルの内容を通知します。トラブルへの対策が取れていることは、機器のセキュリティが確保されていることの1つの指標です。

まず、エラー通知メールを受け取るユーザーを決めてください。このユーザーにはシステム管理者を設定することを推奨します。

次に、ここで決めたユーザーのメールアドレスを、管理ツールでエラー通知メールの宛先に設定します。管理ツールではメールアドレスを2つ設定できます。担当者が不在のときのために、予備のメールアドレスも設定することを推奨します。

1. 管理ツールを起動します。
2. セクションエリアの「機器環境設定」をクリックします。
3. セクションツリーの「機器設定」、[テンプレート] カテゴリーから、[画像ログ送信オプション]のパラメーターをクリックします。
4. プロパティーエリアの「編集」をクリックします。
5. 「エラー処理設定」をチェックします。
6. 「エラー通知のメール送信設定」で「有効」を選択します。
7. 「エラー通知先の管理者メールアドレス1」に、エラー通知を受け取るメールアドレスを入力します。
8. 「エラー通知先の管理者メールアドレス2」に、エラー通知を受け取る予備のメールアドレスを入力します。
9. 「OK」をクリックします。
10. 「保存」をクリックします。

↓ 補足

- 管理ツールの操作は、管理ツールのインストールと初期設定をしたあとに実施してください。管理ツールのインストールと初期設定については、『管理ツール操作ガイド』を参照してください。

その他の注意事項

ログ保管先

各機器から送信されたログを保存する機器には、固定の IPv4 アドレスを設定してください。

また、この機器はスリープ状態や休止状態にならないように設定してください。

ファイルサーバーを使用するときで、ファイアウォールやアンチウイルスソフトが設定されている場合は、機器から SMB で接続できるように通信制限を許可してください。

ネットワーク

機器と共有フォルダーは IPv4 で通信できるようにネットワークを設定してください。通信に使用するネットワークポートには TCP ポート 445 を設定します。

ログの送信エラー発生時の対応

ログの送信時にエラーが発生すると、送信されなかったログは機器に蓄積されます。ログが蓄積され続けると機器を正常に使用できなくなることがあります。ログが正常に送信されていることを定期的を確認し、エラーが発生したときは速やかにエラーの原因を解消してください。

3. 付録

注意事項・制限事項

本製品を使用するときの注意事項・制限事項について説明します。

Embedded アプリケーションのエラーコード

Embedded アプリケーションがログの生成や転送を実行するときにエラーが発生すると、エラーコードとエラーメッセージが表示され、登録されている管理者用メールアドレスにエラー通知メールが送信されます。

エラーコードとメッセージ	原因	対処方法
[E0001]ログの転送が失敗しました。	ジョブログがログ保管先に転送されませんでした。	<ul style="list-style-type: none">• テンプレートの保存先設定が正しいか確認してください。保存先設定については『管理ツール操作ガイド』「機器設定の設定項目一覧」を参照してください。• ログ保管先のハードディスクの空き容量が不足しているときは、不要なログやデータを削除して、空き容量を確保してください。
[E0002]ログの転送が失敗しました。	ジョブログがプライマリストレージに転送されず、セカンダリストレージに転送されました。	
[E0003]ログの生成に失敗しました。	一部のジョブログが生成されませんでした。	<ul style="list-style-type: none">• 機器のハードディスクの空き容量が不足しているときは、不要なログやデータを削除して、空き容量を確保してください。• 機器のエラーが発生しているときは、エラーを解消してください。
[E0004]ログの転送が失敗しました。	画像ログがログ保管先に転送されませんでした。	<ul style="list-style-type: none">• テンプレートの保存先設定が正しいか確認してください。保存先設定については『管理ツール操作ガイド』「機器設定の設定項目一覧」を参照してください。• ログ保管先のハードディスクの空き容量が不足しているときは、不要なログやデータを削除して、空き容量を確保してください。
[E0005]ログの転送が失敗しました。	画像ログがプライマリストレージに転送されず、セカンダリストレージに転送されました。	

エラーコードとメッセージ	原因	対処方法
[E0006]ログの生成に失敗しました。	一部の画像ログが生成されませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 機器のハードディスクの空き容量が不足しているときは、不要なログやデータを削除して、空き容量を確保してください。 機器のエラーが発生しているときは、エラーを解消してください。
[E0007]ログの生成に失敗しました。	全ての画像ログが生成されませんでした。	
[E0008]ログの PDF 変換に失敗しました。	画像ログの PDF 変換に失敗しました。	
[E0009]ジョブの実行が制限されています。	ジョブが実行できず、ジョブログが生成されない状態です。	
[E0010]新規ジョブが実行できるようになりました。	ジョブが実行できない原因が解消されました。	引き続き機器を使用してください。
[E0011]本体 HDD の容量が上限に近づいています。	機器のハードディスクの空き容量が少なくなっています。	不要なログやデータを削除して、機器のハードディスクの空き容量を確保してください。
[E0012]送信先のパスが長すぎます。	ログを送信するときのパスが長すぎるため、ジョブログを転送できませんでした。	フォルダー名のカスタマイズ設定とファイル名のカスタマイズ設定を見直して、ログを送信するときのパスを短くしてください。フォルダー名のカスタマイズ設定とファイル名のカスタマイズ設定については、『管理ツール操作ガイド』「フォルダー名のカスタマイズ設定」と「ファイル名のカスタマイズ設定」を参照してください。
[E0013]送信先のパスが長すぎます。	ログを送信するときのパスが長すぎるため、画像ログを転送できませんでした。	

管理者用メールアドレスにエラー通知メールが届かないときは、機器の設定で以下の項目を確認します。詳しくは機器の使用説明書を確認してください。

- SMTP サーバー名
- SMTP のポート番号
- SMTP 認証を使用するかどうか

SMTP 認証を使用するときは以下の項目を確認します。

- SMTP 認証で使用するユーザー名
- SMTP 認証で使用するメールアドレス
- SMTP 認証で使用するパスワード

その他の注意事項・制限事項

- プログラムのダウンロードなど、機器の再起動が必要な処理を実施しているときは、
□ Embedded アプリケーションの運用ログは保存されません。
- Fiery コントローラーなどのオプションコントローラーを使用している機器では、操作部を使った印刷処理で、画像ログもジョブログも保存されません。

商標

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Server[®]、Hyper-V[®]は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Windows 8.1 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] 8.1
 - Microsoft[®] Windows[®] 8.1 Pro
 - Microsoft[®] Windows[®] 8.1 Enterprise
- Windows 10 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Home
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Pro
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Pro for Workstations
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Pro for Workstations SAC
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Enterprise
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Enterprise SACT
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Enterprise SAC
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Enterprise LTSC
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Enterprise LTSCB
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 Education
- Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2012 Essentials
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2012 Standard
- Windows Server 2012 R2 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2012 R2 Essentials
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2012 R2 Standard
- Windows Server 2016 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2016 Standard
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2016 Essentials
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2016 Datacenter
- Windows Server 2019 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Server[™] 2019 Standard
 - Microsoft[®] Windows Server[™] 2019 Essentials
 - Microsoft[®] Windows Server[™] 2019 Datacenter

VMware ESXi™ は、米国およびその他の地域における VMware, Inc.の登録商標または商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

MEMO

MEMO

MEMO

